人と環境の未来をまもる
ウツノミヤ宣言

私たちは考えました。
社会のために、持続可能な何ができるのだろう？
次の世代、未来を生きる子どもたちのために、
できることって何だろう？

詳しくは 宇都宮製作 検索

Since1903 『まもる』を製る！
宇都宮製作株式会社
Utsunomiya Seisaku Co.,Ltd.
https://www.u-seisaku.co.jp/

宇都宮製作

ディスポは合成ゴムの新商品好調

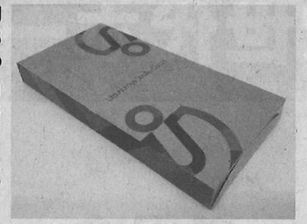
「ウツノミヤ宣言」の活動さらに推進

宇都宮製作（大阪市中央区、大西浩太郎社長）の23年3月期の手袋の販売動向は、PVC（塩化ビニール）のディスポタイプは微増だった。

一方、合成ゴムは「Pro＋（プロプラス）ニトリルグローブMET PF検査・検診用（ライラック）」や「シンガーニトリルSRB（ブラック）」など新商品のディスポタイプが好調で、前年を上回った。

「Pro＋ニトリルグローブ MET PF検査・検診用（ライラック）」は、強度や耐薬品性、抗がん剤のテスト件数にもこだわり、「通常商品よりもワンランク上の商品に仕上げた」（同社）。また、手袋の色をライラックにした点も好調な要因の一つとなっている。白色や青色の手袋が多いなか、やわらかな紫色をしたライラックは医療従事者に支持されている。

「シンガーニトリルSRB（ブラック）」は汚れの目立ちにくい黒色で、耐油性に優れた粉なしタイプのニトリルゴム製手袋。ホテルや飲食店といった対面で接客する場所で、同手袋を装着するケースが増えているという。


USPack

24年3月期は、新市場開拓をテーマの一つに掲げ、その取り組みを推進中だ。新市場では環境やサステナブルに着目。環境をテーマにした展示会への出展やユーザーの環境に配慮した商品の発売を予定している。

同社は人と環境の未来をまもる活動「ウツノミヤ宣言」を21年7月に提言し、「人と環境にやさしい製品を」「人と環境にやさしい会社に」「人と環境にやさしい社会へ」を行っている。

「人と環境にやさしい社会へ」では、手袋廃棄ゼロ活動やマスク配布活動を実施中だ。同社はより高品質で安全な製品を顧客に届けるため、海外と国内で同社独自の厳しい抜き取り検査を行っている。手袋廃棄ゼロ活動では、抜き取り検査後の未使用手袋を規定数量になるように詰め替え、活動を支援する社会団体に寄付している。また、昨年からは活動に賛同する消費者に手袋をプレゼントする企画も行っている。募集はツイッターを活用している。当選者には専用パッケージ「US Pack」で郵送するが、同パッケージはFSC認証を取得している上、中央で折り曲げて、手袋を取出しやすく工夫を凝らした。「これからもウツノミヤ宣言における活動を進め、人と環境の未来をまもりたい」（同社）としている。